

はまだ議会だより mini

浜田市の生き残りには…

浜田市は、2014年に日本創成会議から「消滅可能性都市」に指定されました。指定されたのは全国の半分、896の自治体。2010年から2040年の30年間に、20歳から39歳までの女性の数が50%以上減少する自治体は、少子高齢化の人口減少に歯止めがかからず、自治体の機能を果たせなくなり消滅せざるを得ない、というものです。2021年の浜田市の現状は、当時よりさらに悪化しています。どうしても、浜田市を魅力的なまちに変身させ、雇用を増やし、女性や若者にとって魅力的なまちにしていかなければなりません。そ

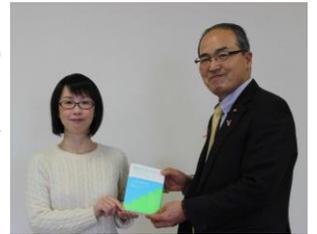
のためには徹底した行財政改革に取り組み、財源を捻出して、都市基盤整備などのまちづくりや生活しやすくするために子育て支援などの福祉政策に投資する必要があります。しかし、浜田市の組織体は肥大化し、固定費が増大しているのが現状です。予算編成権のない議会ですが、浜田市に対して昨年9月に、行財政改革のための5つの提言を行いました。本年も、市政発展と住民福祉の増進につながる提言を行いたいと考え、これから委員会の中で協議を進めていきます。

(自治区制度等行財政改革推進特別委員会)

田中輝美さん取材しました

次号はまだ議会だより(5月1日発行)の市民対談の取材に出掛けました。今回お話を伺ったのは、4月に島根県立大学の准教授に就任された田中輝美さんです。田中さんは、浜田市出身。日本で初めての関係人口論で博士号を取得され、新たに大学に誕生した地域政策学部で「関係人口論」の講義を担当されます。最近、耳にするようになった

「関係人口」という考え方。皆さん、ご存じですか？分かりやすい田中さんの解説とともに、その可能性を探っています。ぜひご覧ください。インタビューは川上議員。
(議会広報広聴委員会)



議員のつぶやき

国府唐鐘の天然ワカメ

春になり海の色が変わってくると、ワカメの季節です。全国で養殖ワカメが増えている中、石見畳ヶ浦近くの唐鐘漁港では、天然ワカメを天日干しにした板ワカメ作りが始まります。磯の



香りを感じるこの風景は、ずっと残ってほしい浜田市の宝物だと思います。

(村武まゆみ)

議長日誌 山陰浜田港公設市場仲買棟開所式

「はまだお魚市場」の仲買棟開所式に参加し、祝辞を述べました。この日はとても多くのお客様で、市場には活気があふれていました。新市場として新たな水産浜田の拠点となることでしょう。商業棟も含んだグランドオープンが夏ごろの予定です。皆さんも一度訪れてみてください。



浜田市議会はSDGsを推進しています。